

第7回 介護・医療連携推進会議議事録

日時	令和8年 6月 24日（水） 14:30 ～ 15:30
場所	メディケアハウス富野 応接室
参加者	利用者家族 3名 地域公民館 館長 1名 地域包括支援センター小倉北1 1名 医療従事者(理学療法士) 1名 外部評価:介護施設紹介会社 1名 住宅型有料老人ホーム 施設長 1名 巡回ステーションつむぎ 管理者・計画作成責任者 各1名ずつ
検討議題	①サービス提供実績 ②事故報告 ③活動内容報告 ④自己評価＊別紙参照 ⑤外部評価＊別紙参照 ⑥ご意見・まとめ

①サービス提供実績報告

	R7.11月	12月	R8.1月	2月	3月	4月
利用者数(人)	51	53	54	54	57	53
内訳 要介護1	12	12	13	14	13	12
要介護2	6	6	6	6	7	7
要介護3	10	9	9	9	8	8
要介護4	13	15	15	14	16	14
要介護5	10	11	11	11	13	12
定期巡回 月間訪問件数(件)	5205	5982	6033	5978	6076	5623
内訳 介護士	4317	4921	4981	4970	5055	4744
看護師	888	1061	1052	1008	1021	879
随時対応 訪問件数(件)	54	32	83	29	36	32
内訳 介護士	20	25	31	20	20	23
看護師	34	7	52	9	16	9
利用者一人当たりの 平均月間訪問回数(回)	102.0	112.8	111.6	110.6	106.5	106.0
内訳 介護士	84.6	92.8	92.2	92.0	88.6	89.5
看護師	17.4	20.0	19.4	18.6	17.9	16.5

②事故報告

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
転倒	0件	0件	0件	0件	0件	1件
怪我(表皮剥離)	0件	0件	0件	0件	1件	1件
誤薬	0件	0件	0件	0件	1件	0件

<詳細・対策>

1.転倒について

半年の転倒件数は1件:車椅子へ移乗する際、バランスを崩し職員と共に転倒し表皮剥離、額に血腫形成。

在宅医へ報告を行い転倒から24時間は転倒に伴う症状出現に注意して観察を行っている。

対策・・・①一人介助が難しい場合はスタッフ二人で対応する。

②移乗ボード等の福祉用具の活用

2.怪我について

半年の転倒件数は2件。

対策……①皮膚が脆弱な方の場合、保護用のアームバンドを使用する。

②ベッド柵のカバーを作成し設置した。

③利用者様の爪切り、手指の保清をしっかりと行う。

上記の対策を行い怪我の防止に努めている。

3.誤薬について

半年で1回発生。与薬時は他スタッフと読み合わせや、声出し確認を行い与薬するよう義務付けているが実施されていなかった。

対策……①必ず声出し確認を行うよう徹底する。

②できるだけ他スタッフと読み合わせをして与薬する。

③活動状況

* 消防訓練

① 令和8年1月15日(木)

参加人数:職員 8名 入居者:5名
1階厨房より出火想定で実施

* 研修参加

介護職員

・オンライン研修に参加

・スタッフ全員が外部のオンライン研修を1～2回/年参加している。

その他、施設内研修として下記5項目の研修を実施。

①食中毒について

②虐待防止

③身体拘束について (2回)

④感染対策について

⑤災害時の業務継続計画について

今後もオンライン研修への参加を進めていく。

看護職員

・オンライン研修に参加

・スタッフ全員が外部のオンライン研修を1回/年参加している。

また、看護職員内でも上記①～⑤の施設内研修を実施。

* BCP(事業継続計画)訓練

・感染症

令和8年4月13日(介護)、令和8年5月6日(看護)

コロナ相当の感染症の発生を想定し、防護エプロンやマスク、グローブの配置や
ハザードボックスの設置、居室隔離での食事提供の実施

・災害

令和7年6月30日実施

看護・介護職員:計15名

津波や豪雨による浸水の発生を想定し、全介助者2名・独歩可能な利用者を2名を
車椅子利用者を数名4階屋上へ誘導避難実施

* 安全衛生委員会

(訪問看護師・介護士・デイサービス職員・施設長で構成 おおむね毎月1回実施)

・感染症対策マニュアルの見直し

・ミトン・センサー実施中の方の評価を実施

・事故報告書の振り返り、再発予防策の検討

・BCPの見直し

④意見・まとめ

<質疑応答>

1. 利用者人数に対して職員数を教えてほしい

A.職員の入職や離職があるが平均的には、介護職10人と看護師10人であり、利用者は50人前後の為に1人の職員に対し5人の利用者となる。

2. 外国人の就労状況や今後の意向はどうなのか知りたい

A.現在、介護特定技能外国人の方が2名デイサービスに配属されているが、定期巡回の事業所では資格が必須のため今後介護の資格を取得できれば当事業所へ配置換えも検討予定。今後も更なる特定技能外国人の受け入れを積極的に行う意向はあるかと問われると、なかなか難しい部分も多い。費用についても住居や家具、通勤手段など支援金だけでは全く補えない。また、宗教的な問題もあり制服の色から話し合いが必要であり、準備に要する時間や労働を考えるとメリット・デメリットの比較が難しい状況である。ただ、どこの施設でも人材不足は否めず、人材確保が課題となっている。

3. その他

・ご家族より・・・よく見て頂いて有難い。

面会時間だけが唯一の家族時間なのでコロナなどの感染症が落ち着いていてよかった。

経鼻栄養を入れいることになり、今後も看てもらえるか心配だったが安心した。

・今後は地域への介護保険や介護施設についてなど波及活動を行ってより安心して生活できるよう支援を検討してほしい。